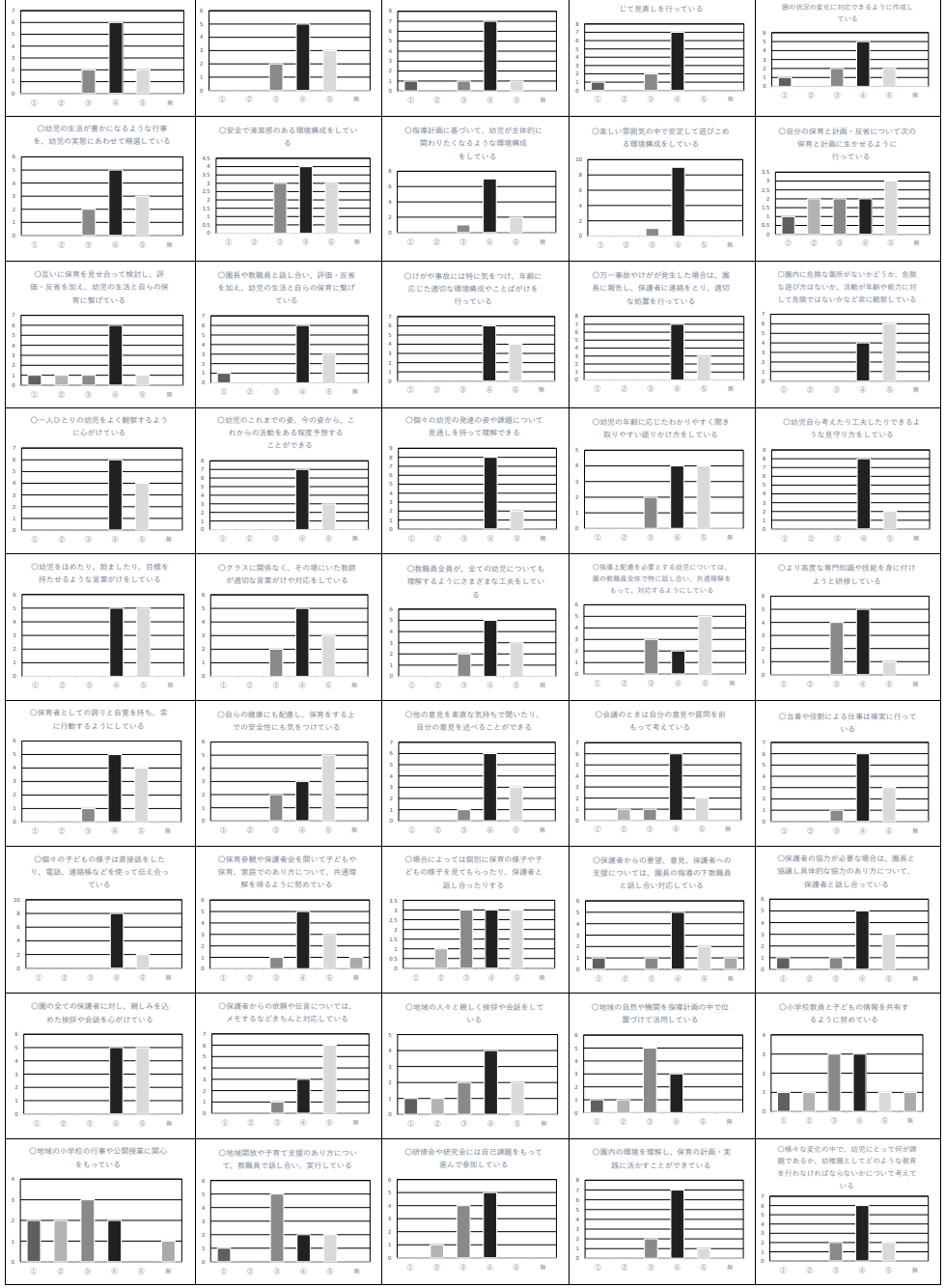
2025年度　自己評価　まとめ

5段階評価・・・5（よくできた）　4（ややできた）　3（ややできていない）　2（できていない）　1（分からない）



	①	②	③	④	⑤	無
○園の教育理念や教育方針を理解している	0	0	2	6	2	0
○園の教育方針に共感し、目指す幼児の姿を具体的にイメージできる	0	0	2	5	3	0
○園の教育課程をもとに、保育の計画を立てている	1	0	1	7	1	0
○園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要	1	0	2	7	0	0
○長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しを行い、幼児の	1	0	2	5	2	0
○幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態にあわせて精選して	0	0	2	5	3	0
○安全で清潔感のある環境構成をしている	0	0	3	4	3	0
○指導計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成	0	0	1	7	2	0
○楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている	0	0	1	9	0	0
○自分の保育と計画・反省について次の保育と計画に生かせるように	1	2	2	2	3	0
○互いに保育を見せ合って検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自ら	1	1	1	6	1	0
○園長や教職員と話し合い、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育	1	0	0	6	3	0
○けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成やことば	0	0	0	6	4	0
○万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡を	0	0	0	7	3	0
○園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢	0	0	0	4	6	0
○一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている	0	0	0	6	4	0
○幼児のこれまでの姿、今の姿から、これからの活動をある程度予想する	0	0	0	7	3	0
○個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる	0	0	0	8	2	0
○幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている	0	0	2	4	4	0
○幼児自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている	0	0	0	8	2	0
○幼児をほめたり、励ましたり、目標を持たせるような言葉がけをしている	0	0	0	5	5	0
○クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉がけや対応をしている	0	0	2	5	3	0
○教職員全員が、全ての幼児についても理解するようにさまざまな工夫をしている	0	0	1	6	3	0
○指導上配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特に話し	0	0	3	2	5	0
○より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している	0	0	4	5	1	0
○保育者としての誇りと自覚を持ち、常に行動するようにしている	0	0	1	5	4	0
○自らの健康にも配慮し、保育をする上での安全性にも気をつけている	0	0	2	3	5	0
○他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる	0	0	1	6	3	0
○会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている	0	1	1	6	2	0
○当番や役割による仕事は確実に行っている	0	0	1	6	3	0
○個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って	0	0	0	8	2	0
○保育参観や保護者会を開いて子どもや保育、家庭でのあり方について	0	0	1	5	3	1
○場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、	0	1	3	3	3	0
○保護者からの要望、意見、保護者への支援については、園長の指導の下	1	0	1	5	2	1
○保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方に	1	0	1	5	3	0
○園の全ての保護者に対し、親しみを込めた挨拶や会話を心がけている	0	0	0	5	5	0
○保護者からの依頼や伝言については、メモするなどきちんと対応して	0	0	1	3	6	0
○地域の人々と親しく挨拶や会話をしている	1	1	2	4	2	0
○地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している	1	1	5	3	0	0
○小学校教員と子どもの情報を共有するように努めている	1	1	3	3	1	1
○地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている	2	2	3	2	0	1
○地域開放や子育て支援のあり方について、教職員で話し合い、実行	1	0	5	2	2	0
○研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している	0	1	4	5	0	0
○園内の環境を理解し、保育の計画・実践に活かすことができている	0	0	2	7	1	0
○様々な変化の中で、幼児にとって何が課題であるか、幼稚園として	0	0	2	6	2	0